

平成 21 年度通常総会議案について

平成 21 年度通常総会は去る 4 月 20 日に開催され、以下の総会議案がすべて原案通り承認されました
 のでお知らせします（詳しくは <http://www.orsj.or.jp/Members/reports.htm> をご覧ください）。

平成 20 年度事業報告（第 1 号議案）

・第 1 回「最適化とその実用」を 8 月 28 日、(株)構造計画研究所で開催した。参加者 43 名。

I. 事業の概要

1. 研究発表会（定款第 5 条 1 号）

(1) 3 月 25 日、26 日の両日、京都情報大学院大学において、第 103 回研究発表会を開催した。

- ・特別テーマ「研究開発の OR」
- ・特別講演（一般公開）

1) 情報通信サービスの進化とそれを支える研究開発
 平田康夫（(株)国際電気通信基礎技術研究所
 代表取締役社長）

2) これからのホームネットワークシステムと住空間
 デザイン
 野村淳二（松下電工(株)副社長・OR 学会副会長）

- ・発表件数 108 件
- 一般発表 98 件
- ・参加者数 279 名

(2) 9 月 10 日、11 日の両日、札幌コンベンションセンターにおいて、第 104 回研究発表会を開催した。

- ・特別テーマ「観光と OR」
- ・特別講演（一般公開）

1) DMV とは何もの：DMV の可能性と将来性
 難波寿雄（北海道旅客鉄道(株)
 DMV 推進センター長）

2) 観光と OR と情報
 大内 東（北海道大学教授・観光情報学会会長）

- ・発表件数 143 件
- 一般発表 129 件
- 特別セッション 14 件
- ・参加者数 354 名

2. シンポジウム（定款第 5 条 1 号）

(1) 3 月 24 日、京都情報大学院大学において、第 59 回シンポジウム「インターネットと OR」を開催した。
 講演 4 件。参加者は 72 名であった。

(2) 9 月 9 日、北海道大学において、第 60 回シンポジウム「サプライチェーン・マネジメントのフロンティア」を開催した。講演 5 件。参加者は 72 名であった。

3. 普及活動（定款第 5 条 1 号）

(1) OR セミナー

題 目	講 師
最適化序論と適用事例	田村 明久 (慶應義塾大学)
混合整数計画法とその適用事例	宮代 隆平 (東京農工大学)
実務的なスケジューリング問題への適用	田辺 隆人 (株)数理システム)
21 世紀のネットワーク最適化	伊藤 大雄 (京都大学)
演習で学ぶ最適化	斉藤 努 (株)構造計画研究所)

・第 2 回「企業改革を支えるサプライチェーン戦略」を 2 月 2 日、(株)野村総合研究所丸の内総合センターで開催した。参加者 30 名。

題 目	講 師
トータルマネジメントコンセプトと SCM	橋本 忠夫 (多摩大学)
雪印乳業の SCM の取り組み	松本卓夫・大石真樹 (雪印乳業(株))
サプライチェーンロジスティクスの取組みと課題	増森 毅 (パナソニック(株))
戦略的 SCM と企業革新	藤野 直明 (株)野村総合研究所)
企業改革に SCOR モデルを使うわけ	三枝 利彰 (株)日本ビジネス クリエイト)

(2) 企業事例交流会

・第 21 回企業事例交流会は、第 103 回研究発表会（京都情報大学院大学）にて 3 月 25 日開催。発表件数 5 件。

・第 22 回企業事例交流会は、第 104 回研究発表会（札幌コンベンションセンター）にて 9 月 10 日開催。発表件数 2 件。

(3) 新宿 OR 研究会

昭和 55 年創設以来、年間 10 回の例会を開催している。テーマは OR 関係の最近の動向に留まらず会員推薦の各界の話題など極めて広範、かつ時宜に適ったもので、メンバーの啓発、懇親を行っている。会誌に開催案内を掲載し、新宿地区を中心に会員の幅広い参加を呼びかけている。

4. 刊行物 (定款第 5 条 2 号)

(1) 機関誌「オペレーションズ・リサーチ」Vol. 53, No. 3~No. 12 を各 3,150 部, Vol. 54, No. 1~No. 2 を各 3,000 部発行した。

(2) 論文誌 (Journal of the Operations Research Society of Japan) を 2,600 部, 和文論文誌 (Transactions of the Operations Research Society of Japan) を 2,500 部発行した。

(3) 研究発表会アブストラクト集およびシンポジウム予稿集

春季・秋季研究発表会のアブストラクト集およびシンポジウム予稿集を発行した。

(4) セミナーテキスト

「最適化とその実用」「企業改革を支えるサプライチェーン戦略」に関するテキストを発行した。

5. 日本学術会議並びに他学協会との連携・協力 (定款第 5 条 3 号)

(1) 日本学術会議関連

平成 18 年 8 月から総合工学分野の連携会員として高橋幸雄氏 (東京工業大学) が任命された。なお、FMES 関連では久米均氏 (QC), 圓川隆夫氏 (QC), 向殿政男氏 (信頼性) が連携会員として任命され、主として総合工学委員会, 工学システムに関する安全・安心・リスク検討分科会の中で活動している。

(2) 経営工学関連学会協議会 (FMES) 関連

高橋幸雄氏が FMES の会長 (2006 年から) を務めている。また代表者会議のメンバーとして香田正人氏 (筑波大学) と上田徹氏 (成蹊大学) が参加している。なお、FMES の事務局は平成 17 年 7 月から(株)日本品質管理学会が務めている。平成 20 年度の FMES の活動は以下の通り、日本学術会議と連携してのシンポジウム開催および JABEE 認定審査であった。

①シンポジウム委員会

平成 20 年度のシンポジウムは平成 20 年 7 月 4 日「安全・安心・リスクと企業経営」をテーマに、日本学術会議講堂において開催された。今年度の幹事学会は日本信頼性学会であった。

② FMES/JABEE 委員会

当学会から運営委員に香田正人氏, 上田徹氏が派遣

されている。また、審査委員会にも OR 学会関係の有資格者を派遣し、経営工学分野の JABEE 認定審査に協力している。

(3) 日本技術者教育認定機構 (JABEE)

当学会は 2001 年 2 月に正会員として加入 (会費 1 口 10 万円) するとともに上記 FMES グループとして加入, その幹事会費分 (日本経営工学会, 日本品質管理学会と当学会が各 10 万円) を負担している。

なお、JABEE の理事として FMES 会長の高橋幸雄氏を送っている。JABEE は 2009 年 4 月の新法人設立に向けて準備中であり、高橋幸雄氏は FMES を代表して新法人設立時理事となることが予定されている。

(4) (株)日本工学会関連

工学系 101 学協会の連合体である(株)日本工学会の諸活動に協力し、片山隆仁氏 (防衛省) が評議員として派遣されている。また同会事務研究委員会に委員 1 名 (事務局長) が参加している。

(5) 横断型基幹科学研究団体連合 (略称: 横幹連合)

この連合は「社会発展の基礎となる新しい価値体系である横断型基幹科学技術の重要性を提唱し、その創造と進歩に資する活動を行うこと」を目的に計測自動制御学会, FMES メンバーなど 30 学会が参加して、平成 15 年 4 月に設立総会を開催し、正式発足した。当学会からは代議員として上田徹氏, 副会長として鈴木久敏氏 (筑波大学) が派遣されている。

6. 他学協会との交流 (定款第 5 条 3 号)

他学協会の下記講演会等に協賛, 後援した。

- ・第 24 回京都賞記念ワークショップ (稲盛財団)
- ・2008 年度春季全国研究発表大会 (経営情報学会)
- ・2008 年度秋季全国研究発表大会 (経営情報学会)
- ・公開シンポジウム (経営情報学会東海支部)
- ・計測自動制御学会関西支部「平成 20 年度講習会」(計測自動制御学会)
- ・計測自動制御学会システム・情報部門学術講演会 2008 (計測自動制御学会)
- ・第 51 回自動制御連合講演会 (計測自動制御学会他)
- ・スケジューリング・シンポジウム 2008 (スケジューリング学会)
- ・第 38 回信頼性・保全性シンポジウム (日本科学技術連盟)
- ・第 10 回日本感性工学会年次大会 (日本感性工学会)
- ・生産システム部門講演会 2008 (日本機械学会)
- ・経営工学 100 年周期記念行事 (日本経営工学会)
- ・第 27 回日本シミュレーション学会大会 (日本シミュレーション学会)

- ・第16回春季信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・第21回秋季信頼性シンポジウム（日本信頼性学会）
- ・創立20周年記念大会（日本設備管理学会）
- ・第24回ファジィシステムシンポジウム（日本知能情報ファジィ学会）
- ・計測・制御・システム工学部会システムフォーラム（日本鉄鋼協会）
- ・2008年研究発表大会（日本リアルオプション学会）
- ・教育フォーラム2008（プロジェクトマネジメント学会）

7. 国際協力（定款第5条3号）

(1) IFORS (International Federation of Operational Research Societies) の副会長として大山達雄氏（政策研究大学院大学）を選出し、各国のOR学会との交流、協力を図った。またIFORS 2008（7月13～18日）が南アフリカ共和国ヨハネスブルグで開催され、日本からは13名が参加した。

- (2) APORS (Association of Asian-Pacific Operational Research Societies) の副会長として大山達雄氏（政策研究大学院大学）を選出し、アジア・太平洋地域のORの発展と加盟学会の情報交換に協力した。
- (3) IAOR (International Abstracts in Operations Research) の編集、発行に協力し、日本の文献抄録を送付するとともに、IAORの国内頒布に協力した。
- (4) APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) の編集、発行、頒布に積極的に協力した。
- (5) EJOR (European Journal of Operational Research) の編集、頒布に協力した。

8. 受託研究活動（定款第5条4号）

学会の公益活動の一環として、本年度も前年度に引き続き、(財)グローバル・インフラストラクチャー研究財団からの受託研究を「未来のインフラストラクチャー」研究部会を窓口を実施した。

9. 研究部会・研究グループ（定款第5条4号）

研究部会・研究グループ終了/中間報告

- ◎印 終了を示す
- *印 研究グループを示す
- ☆印 常設部会を示す

部 会 名	主査幹事	メンバー	開催	内 容
☆待ち行列	高木 英明 (筑波大学) 加藤 憲一 (東京工業大学)	25名	7回	待ち行列および関連分野の専門家による研究発表会を開催し、最新の成果について意見交換した。学生・初学者向けチュートリアルを開催した。また研究奨励賞を創設し、若手研究者の優れた研究を表彰した。
☆数理計画 (RAMP)	水野 眞治 (東京工業大学) 中田 和秀 (東京工業大学)	30名	1回	10月にシンポジウム（セッション：整数計画・離散最適化の進展・連続最適化周辺の最近の発展・実務における数理計画法・数理諸分野と最適化）を開催した。数理計画の理論および応用の最前線で活躍している14名の研究者に講演していただき、参加者は171名であった。
☆統合オペレーション	山田 郁夫 中野 一夫 (構造計画研究所)	15名	2回	実践的立場から巨大組織が外部招聘したトップをより効率的に活用するための具体策について議論した。また、企業において価値を生み出すためには、適切な情報構造を確立することが鍵になるという「青い空」概念について討論した。
☆評価のOR	森田 浩 (大阪大学) 関谷 和之 (静岡大学)	14名	7回	年4回の定例研究会を開き、毎回数名の講演者を招き、ORでの評価手法、意思決定手法に関する研究発表を行った。この他にもDEAシンポジウムを開催し、海外の研究者による基調講演2件、招待講演5件と一般講演16件を行った。
☆意思決定法	木下 栄蔵 (名城大学) 大屋 隆生 (国土館大学)	26名	3回	AHPを中心とした意思決定法に関する発表により、意思決定手法の理解を深め、企業や行政などの政策立案評価、マネジメントにおける適用性を高めることができた。
◎ORと実践	成瀬 喜則 (富山商船高等専門学校) 金子 宏之 (小松短期大学)	13名	5回	北陸地区を会場にして、年間5回の研究部会を行った。工学系、経済・経営系、医療系など様々な分野における諸問題をテーマにして、数理的モデルの開発とその応用に関する講演が行われ、有意義な議論がなされた。
◎計算と最適化	村松 正和 (電気通信大学) 森口 聡子 (産業技術大学院大学)	13名	7回	計算と最適化に関する話題について、年6回の定例研究会と、合宿形式の研究発表会を1回開催した。定例研究会では、毎回2名の講演者を招き、各1時間半の研究発表を行っていただいた。毎回10名以上の参加者があった。合宿形式の研究発表会は筑波大学で開催され、19件の研究発表が行われた。
◎ゲーム理論と経済工学	武藤 滋夫 (東京工業大学) 福田恵美子 (防衛大学校)	50名	11回	本年度は11回研究会を開催し、合計12件の報告があった。理工学、社会科学の各分野、またその複合領域でのゲーム理論の発展性について、幅広い分野からの参加者による有意義な研究交流を行うことができた。

部 会 名	主査幹事	メンバー	開催	内 容
◎コンピューテーション	加藤 直樹 (京都大学) 藤江 哲也 (兵庫県立大学)	13名	5回	毎回2~3名の講師を招き、組合せ最適化やアルゴリズムにおける理論あるいはその応用など、広く「計算」に関する研究発表をしていただき、情報交換や議論を行った。
◎不確実性環境下での意思決定の理論と応用	菊田 健作 (兵庫県立大学) 川勝 英史 (流通科学大学)	11名	6回	不確実な要素を含む問題に関連した内容を中心に、信頼性、ゲーム理論、在庫管理、数理計画、情報処理などの分野から報告をしていただいた。活発な議論や質疑応答を通じて研究交流を行い、多くの知見を得ることができた。
◎ソフトコンピューティングとOR	片桐 英樹 (広島大学) 柴田 淳子 (神戸学院大学)	12名	5回	5回の研究会を開催し、ソフトコンピューティング手法とORの融合分野だけでなく、実社会の問題へ適用する際の問題点等についても検討を行った。他学会と共催することで、より広い範囲での議論を行うことができた。
◎ファイナンスと意思決定	木島 正明 (首都大学東京) 田中 敬一 (首都大学東京)	12名	7回	7回の研究会で様々なファイナンスの話題に関する進展を報告した。リスク管理、価格付け問題、リアルオプション等に関する研究において、活発な議論により実務家を含めた研究交流を行った。
◎不確実環境下での柔構造最適化モデリング	岩村 覚三 (城西大学) 安田 正實 (千葉大学)	9名	4回	経営科学における柔構造最適化モデルに関連した数理解析とその計算手法等について、成果発表や国際会議報告、新分野のチュートリアル等、研究交流を行った。
安全安心学	氏田 博士 (エネルギー総合工学研究所) 増田 浩通 (千葉工業大学)	20名	3回	本年度は研究部会を計3回開催した。その内容は、高信頼性組織、テロの発生形態と日本の対応、自動車の運転支援を中心にした人と機械の信頼関係の構築、と多彩な内容に渡った。
SCM時代の製造マネジメント	伊呂原 隆 (上智大学) 成松 克己 (東芝)	30名	10回	計画作成ロジックをはじめ、様々な観点で製造マネジメントを議論する10回の会合を行った。各会合で基本的に一人の講演を依頼し、1時間講演、1時間を質疑に当て、十分な内容の理解と議論を行った。
未来のインフラストラクチャー	栗田 治 (慶應義塾大学) 高鳴 隆太 (東京大学)	20名	13回	未来のインフラストラクチャーに関連する問題をORの立場から整理し、モデル分析を行った。具体的にはMaglevの整備、運輸部門の評価、多様化理論の応用、交通インフラストラクチャー、インフラ整備のプロジェクトマネジメント等のモデル開発が活発に行われた。
価値の創造とOR	奥原 浩之 (大阪大学) 春名 亮 (金沢学院大学)	18名	5回	今年度は環境、消費、公民、地方、食育等における問題解決のための創意や工夫を専門家に講演をしていただき、異なる分野の参加者との議論を通じて、価値の創造という観点から体系的に捉えることを目指した。
サプライチェーンストラテジー	高井 英造 (フレームワークス) 草刈 君子	22名	6回	サプライチェーンにおける経営戦略、実施戦略、戦略的ビジネスプロセス、グローバルSCM、OR手法の適用等について、事例と理論の正面から研究する。 http://scs.blog.so-net.ne.jp/ を参照。
食料・農業・環境とOR	南石 晃明 (九州大学) 佐藤 正衛 (農業・食品産業技術総合研究機構)	21名	6回	研究会を6回開催し、食料・農業・環境に関する諸問題について産官学民の各分野の方々と情報交換を行った。またそれらの問題解決に向けてORアプローチの有効性と課題について理論と応用の両側面から議論を深めた。
防衛と安全	宝崎 隆祐 (防衛大学校) 小宮 享 (防衛大学校)	24名	11回	11回の研究会を開催した。研究会では防衛と安全対策に関する最新の研究状況や成果が、産・官・学からの幅広い参加者に対して報告され、その内容からOR誌の10月号特集を編集した。
マーケティング情報	生田目 崇 (専修大学) 朝日 弓未 (東京理科大学)	30名	6回	マーケティングの情報活用に関する研究を行った。最新の理論の紹介ならびに実務的観点からのデータ活用の可能性についての研究の紹介と、データ解析コンペティションを開催し、データ分析の技術を競った。
若手によるOR横断研究	檀 寛成 (関西大学) 林 俊介 (京都大学)	21名	5回	本年度は5回の研究会を開催し、若手の研究者や実務家によって、ORの諸分野についての研究発表が行われた。また10月には本部会主催の合宿を行い、40名の参加者による活発な交流が行われた。
*政治と社会と行政のOR	大山 達雄 (政策研究大学院大学) 田中 健一 (電気通信大学)	30名	3回	毎回2名の講師を招き、公共諸部門や社会システム全般における問題解決、意思決定、政策の策定と評価等、ORの理論と手法の幅広い応用研究に関する発表を行っていただき、参加者の間で積極的な議論を行った。

10. 表彰 (定款第5条5号)

(1) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第37回文献賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- Sparse quasi-Newton updates with positive definite matrix completion

Mathematical Programming Series A, Vol. 115, No. 1

山下信雄 (京都大学)

(2) 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞奨励賞

第4回文献賞奨励賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- Solving Linear Programs from Sign Patterns
Mathematical Programming, Vol. 114, No. 2
- Sign-Solvable Linear Complementarity Problems
Linear Algebra and its Applications, Vol. 429, Nos. 1-2

垣村尚徳 (東京大学)

- Upper bound for the decay rate of the joint queue-length distribution in a two-node Markovian queueing system

Queueing Systems, Vol. 58, No. 3

加藤憲一 (東京工業大学)

- Electric Network Classifiers for Semi-Supervised Learning on Graphs

Journal of the Operations Research Society of Japan, Vol. 50, No. 3

平井広志 (京都大学)

(3) 日本オペレーションズ・リサーチ学会普及賞

第34回普及賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- 古林 隆 (法政大学)
- 森 雅夫 (東京工業大学名誉教授)

(4) 日本オペレーションズ・リサーチ学会実施賞

第33回実施賞の選考を行い、下記のとおり決定した。

株式会社 日立製作所 生産技術研究所

(5) 日本オペレーションズ・リサーチ学会事例研究賞

第29回事例研究賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

- フルートの運指最適化と逆最適化を用いたパラメータチューニング

オペレーションズ・リサーチ, Vol. 53, No. 1

澤井賢一 (東京大学), 黒木裕介 (㈱東芝), 松井

知己 (中央大学)

- 首都直下地震による鉄道利用通勤・通学客の被害想定

オペレーションズ・リサーチ, Vol. 53, No. 2

鳥海重喜 (中央大学), 川口真由 (全日空システム企画㈱), 田口 東 (中央大学)

- 極値回帰モデルによる自動車オークションにおける落札価格分布の分析

平成19年度データ解析コンペティション

関 庸一, 長井 歩, 阿左美尚志, 川端 聖 (群馬大学)

(6) 日本オペレーションズ・リサーチ学会業績賞

第10回業績賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

武藤滋夫 (東京工業大学)

(7) 日本オペレーションズ・リサーチ学会学生論文賞

第26回学生論文賞の選考を行い、以下のとおり決定し、授賞を行った。

- A Landmark Algorithm for the Time-Dependent Shortest Path Problem

大嶋達也 (京都大学・修士論文)

- 一般化安定結婚問題に基づく研究室配属問題の数理的考察

片岡 達 (関西学院大学・修士論文)

- Bargaining Outcomes of Patent Licensing in Oligopoly Markets

岸本 信 (東京工業大学・修士論文)

- 歩行可能領域に制約のある空間における歩行モデル

行田修久 (東京工業大学・修士論文)

- Variational Inequality Approaches to Generalized Nash Equilibrium Problems

鍋谷昂一 (京都大学・修士論文)

- Exploring the relationship between the hedging strategies based on coherent risk measures and the martingale probabilities via optimization approach

姚 偉烽 (筑波大学・修士論文)

(8) 日本オペレーションズ・リサーチ学会近藤賞

第2回近藤賞の選考を行い、以下のとおり決定した。

小島政和 (東京工業大学)

11. 支部活動 (定款第5条6項)

支部ごとに次のとおり活動した。

支部活動報告

	北海道	東 北	中 部	関 西	中国四国	九 州
運営会議	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 1回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 6回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 運営委員会・ 幹事会 2回
研究会		研究会 1回	支部研究発表会 1回	産学研究者 交流会 1回	1 研究部会	研究会 3回
講演会	講演会 2回	講演会 1回	支部講演会 2回	講演会 2回	講演会 6回	講演会 3回
講習会						
出版			支部ニュース5回 アブストラクト集 1回 シンポジウム 講演資料集 1回	OR誌53巻5号 特集担当 OR誌54巻5号 特集企画		
その他	チュートリアル セミナー 1回	チェコ・ジャパン セミナー2008	支部シンポジウム 1回 他学会協賛 2回	支部ホームページ の運営	支部シンポジウム 1回 四国ブロック シンポジウム および講演会1回	最適化と数理の ORセミナー 1回

II. 処務の概要

1. 役員に関する事項

理事 非常勤
定数：12人から18人 (現在：17人)
任期：2年

監事 非常勤
定数：2人 (現在：2人)
任期：2年

2. 職員に関する事項 (略)

3. 会議に関する事項

(1) 臨時総会

開催年月日	議 事 事 項	結果
20.2.25	1. 平成20年度事業計画の件 2. 平成20年度収支予算の件	承認 〃

(2) 通常総会

開催年月日	議 事 事 項	結果
20.4.21	1. 平成19年度事業報告の件 2. 平成19年度収支計算報告および 監査報告の件 3. 平成20年度21年度役員承認の件 4. 平成20年度21年度代議員選任の件	承認 〃 〃 〃

(3) 理事会 (略)

(4) 支部長会議 (略)

(5) 委員会・幹事会 (略)

4. 許可・認可・承認・証明に関する事項
該当なし

5. 契約に関する事項
該当なし

6. 寄付金に関する事項

近藤賞基金の募金は1口5,000円の寄付があった。

7. 主務官庁からの連絡事項等 (略)

8. 会員状況

(2) 地域別内訳

(1) 入退会内訳

	名誉 会員	正会員	学生 会員	賛助会員		合 計	
				A 種	B 種		
平成20年2月末日	13	2,055	219	57 (66)	24 (24)	2,368 (90)	
平成 20年 度	入 会	36	54	3 (3)	3 (3)	96 (6)	
	移動	学→正	34	△34			
		正→学	△1	1			
		正→名					
	退 会	△1	△122	△27	△9(△10)	△5(△5)	△164(△15)
	除 名		△31	△31			△62
	復 活		1				1
純増減	△1	△83	△37	△6(△7)	△2(△2)	△129(△9)	
平成21年2月末日	12	1,972	182	51 (59)	22 (22)	2,239 (81)	

()は口数

	名誉会員	正会員	学生会員	賛 助 会 員	
				A 種	B 種
本 部	8	1,160	120	36 (44)	21 (21)
北 海 道		60	1	2 (2)	
東 北	1	65	3	1 (1)	
中 部		193	15	3 (3)	
関 西	3	278	33	7 (7)	1 (1)
中国・四国		118	3	1 (1)	
九 州		98	7	1 (1)	
合 計	12	1,972	182	51 (59)	22 (22)

()は口数

平成20年度財務諸表 (第2号議案)

貸借対照表

平成21年2月28日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	38,556,737	37,996,294	560,443
現金	475,551	247,477	228,074
振替貯金	4,374,895	12,028,455	△ 7,653,560
当座預金	25,586	25,586	0
普通預金	33,181,374	25,195,445	7,985,929
定期預金	499,331	499,331	0
未収金	1,435,209	1,872,494	△ 437,285
未収会費	1,248,120	1,625,620	△ 377,500
その他の未収金	187,089	246,874	△ 59,785
前払金	85,284	34,049	51,235
仮払金他	0	42,580	△ 42,580
流動資産合計	40,077,230	39,945,417	131,813
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
退職給与引当資産	8,243,000	7,107,000	1,136,000
敷金等移転準備積立金資産	3,621,640	3,621,640	0
名簿作成準備積立金資産	400,000	800,000	△ 400,000
国際協力積立金資産	7,119,890	6,000,000	1,119,890
記念事業積立金資産	11,143,931	11,143,931	0
表彰事業積立金資産	4,600,000	4,700,000	△ 100,000
OA化積立金資産	8,380,000	8,380,000	0

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
50周年事業積立金資産	0	5,000,000	△ 5,000,000
国際会議積立金資産	0	1,119,890	△ 1,119,890
OR 事典積立金資産	1,800,000	1,800,000	0
財政調整積立金資産	9,253,225	4,253,225	5,000,000
特別研究積立金資産	5,000,000	5,000,000	0
近藤賞基金引当金資産	14,025,517	13,968,144	57,373
特定資産合計	73,587,203	72,893,830	693,373
(3) その他固定資産			
什器備品	116,985	172,780	△ 55,795
ソフトウェア	198,107	268,027	△ 69,920
敷金・保証金	1,596,000	1,596,000	0
その他固定資産合計	1,911,092	2,036,807	△ 125,715
固定資産合計	80,498,295	79,930,637	567,658
資産合計	120,575,525	119,876,054	699,471
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	2,315,205	1,822,823	492,382
前受金	25,087,783	25,311,835	△ 224,052
前受会費	22,692,432	23,362,920	△ 670,488
その他の前受金	2,395,351	1,948,915	446,436
預り金	395,043	260,573	134,470
仮受金	0	15,900	△ 15,900
流動負債合計	27,798,031	27,411,131	386,900
2. 固定負債			
退職給与引当金	8,243,000	7,107,000	1,136,000
固定負債合計	8,243,000	7,107,000	1,136,000
負債合計	36,041,031	34,518,131	1,522,900
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	79,534,494	80,357,923	△ 823,429
(うち特定資産への充当額)	(73,587,203)	(72,893,830)	693,373
正味財産合計	84,534,494	85,357,923	△ 823,429
負債及び正味財産合計	120,575,525	119,876,054	699,471

正味財産増減計算書

平成 20 年 3 月 1 日から平成 21 年 2 月 28 日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用収益			
基本財産受取利息	14,038	14,000	38
② 受取入会金			
正会員入会金	54,000	75,000	△ 21,000
学生会員入会金	32,400	40,800	△ 8,400
③ 受取会費			
正会員会費	28,902,400	29,684,000	△ 781,600
学生会員会費	1,135,820	1,320,000	△ 184,180
賛助会員会費	7,756,000	7,898,000	△ 142,000

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
④ 事業収益			
会誌頒布収益	4,138,691	4,485,593	△ 346,902
研究発表会収益	5,078,000	4,275,000	803,000
シンポジウム収益	220,000	155,000	65,000
セミナー収益	1,280,000	1,080,000	200,000
資料等頒布収益	113,000	141,300	△ 28,300
IAOR 収益	330,000	315,000	15,000
EJOR 収益	464,000	527,000	△ 63,000
APJOR 収益	210,000	210,000	0
受託研究費収益	1,000,000	1,000,000	0
50周年記念事業収益	0	746,881	△ 746,881
⑤ その他収益			
論文投稿掲載料	1,753,640	1,509,000	244,640
広告料	3,972,000	4,344,000	△ 372,000
事務委託収益	150,000	150,000	0
その他	0	9,500	△ 9,500
⑥ 受取寄付金			
受取一般寄付金	5,000	9,195,000	△ 9,190,000
⑦ 雑収益			
受取利息	291,953	257,455	34,498
雑収益	260,006	200,216	59,790
⑧ 引当金戻入			
引当金戻入	0	216,000	△ 216,000
経常収益計	57,160,948	67,848,745	△ 10,687,797
(1) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	7,901,833	7,911,391	△ 9,558
臨時雇賃金	1,292,000	1,322,000	△ 30,000
旅費交通費	612,150	428,340	183,810
通信運搬費	4,813,813	5,093,050	△ 279,237
減価償却費	125,715	125,715	0
消耗品費	294,344	392,520	△ 98,176
会議費	146,948	138,138	8,810
印刷製本費	10,056,543	11,327,977	△ 1,271,434
研究発表会	3,922,080	3,161,634	760,446
IFORS 会費	290,742	359,623	△ 68,881
IAOR 購入費	195,355	275,967	△ 80,612
EJOR 購入費	454,100	432,000	22,100
APJOR 購入費	165,873	166,642	△ 769
APORS 関係費	0	82,754	△ 82,754
シンポジウム開催費	264,293	325,500	△ 61,207
セミナー開催費	660,330	1,448,049	△ 787,719
OR 企業フォーラム	0	209,834	△ 209,834
研究部会費	906,446	909,794	△ 3,348
支部運営費	1,492,198	1,549,348	△ 57,150
支部事業費	591,904	537,926	53,978
表彰事業費	556,464	1,451,543	△ 895,079
諸謝金	956,500	1,463,536	△ 507,036
名簿作成費	342,411	0	342,411
受託研究費	1,000,000	1,000,000	0
FMES 関係費	459,853	463,971	△ 4,118
50周年記念事業費	0	6,259,876	△ 6,259,876
近藤賞関係費	0	2,060,290	△ 2,060,290

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費			
給料手当	7,901,832	7,911,391	△ 9,559
退職給付	0	162,000	△ 162,000
福利厚生費	2,216,407	2,189,473	26,934
会議費	199,185	272,210	△ 73,025
旅費交通費	1,232,540	921,460	311,080
通信費	467,786	771,106	△ 303,320
事務用消耗品費	45,605	20,204	25,401
消耗品費	136,383	412,151	△ 275,768
修繕費	0	71,400	△ 71,400
印刷費	173,880	150,019	23,861
家賃	3,750,384	3,750,384	0
共益費	1,625,400	1,625,400	0
保険料	10,000	10,000	0
支払手数料	207,285	258,910	△ 51,625
租税公課	317,600	325,800	△ 8,200
負担金	3,500	3,500	0
リース料	391,104	420,504	△ 29,400
OA 化準備費	0	38,764	△ 38,764
損金	598,630	536,087	62,543
雑費	68,961	544,757	△ 475,796
③ 引当金繰入			
退職給与引当金繰入	1,136,000	1,106,400	29,600
経常費用計	57,984,377	70,399,338	△ 12,414,961
当期経常増減額	△ 823,429	△ 2,550,593	1,727,164
当期一般正味財産増減額	△ 823,429	△ 2,550,593	1,727,164
一般正味財産期首残高	80,357,923	82,908,516	△ 2,550,593
一般正味財産期末残高	79,534,494	80,357,923	△ 823,429
II. 指定正味財産増減の部			
指定正味財産期首残高	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産期末残高	5,000,000	5,000,000	0
III. 正味財産期末残高	84,534,494	85,357,923	△ 823,429

平成 21 年度 22 年度役員候補者名簿 (第 3 号議案)

会務役職	定数	候 補 者	備考 (非改選役員)
会 長	1 (0)		伏 見 正 則
副 会 長	3 (2)	武 藤 滋 夫	田 口 東
"		山 下 勝比拔	
庶 務	2 (1)	渡 辺 隆 裕	相 澤 りえ子
国 際	1 (1)	村 松 正 和	
研究普及	2 (1)	大 澤 義 明	伊 倉 義 郎
編 集	2 (1)	牧 本 直 樹	藤 重 悟
会 計	1 (0)		佐賀井 重 雄
渉 外	1 (0)		上 田 徹 一
広 報	1 (0)		八 卷 直 一
支 部	1 (1)	加 藤 直 樹	
無 任 所	3 (1)	古 藤 浩	大 屋 隆 生
			塩 田 光 重
監 事	2 (1)	紀 一 誠	山 下 浩

()内は平成 21 年度改選数